

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150480020		
法人名	医療法人 高仁会		
事業所名	グループホーム 悠々		
所在地	佐賀県多久市北多久町多久原2512-24		
自己評価作成日	平成28年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年12月4日	外部評価確定日	平成29年12月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>(東ユニット)日常生活の中で、毎日行う作業(洗濯、掃除、食器などの後片付け等)を入居者と職員が一緒に行いながら、共に生活している。入居者一人一人の「出来る事」「出来ない事」を把握し、支援を行っている。地域との交流を大切にしている。(西ユニット)家庭的な雰囲気の中で、日々過ごしていけるように支援している。入居者の思いや意思を大切にしている。(東西ユニット)レクや地域行事などを通じて、地域社会の有り様を感じ取れるように努めている。東西ユニットの相互交流が図れるように、年間レク内容を考えながら行い、敬老会では御家族を招いて、共に楽しめるように努めている。又、敬老会の後は家族懇談会を行い、御家族と職員、御家族相互の交流や意見交換が出来る様に場を設けている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>JR中多久駅近くの静かで落ち着いた雰囲気の住宅街の中、母体法人の病院そばに建つ事業所である。平成12年開設で県内でも草分け的な介護事業所のひとつである。なるべく事業所へ足を運んでもらえる環境づくりに努めており、地域を意識した交流が盛んである。幼稚園児の訪問や行事の時の高校生ボランティア・紙芝居・エプロンシアター・琴演奏ボランティア訪問など、ボランティアの関わりが多い。今年度は地域から誘われて、地区の清掃作業後に地区民と職員がグラウンドゴルフで親睦を図っている。専門知識を持った母体病院の基、介護に対する職員意識も高い。『悠々6カ条』やグループホーム『悠々』の理念、グループホーム『悠々』ケア理念・ケア目標、職員が相談しながら考えた東西各ユニットケア目標など、多くの理念や目標が事業所内の目に付くところに掲示しており、意識の向上・ケア理念の確認と振り返りに役立っている。管理者は職員にTPOを意識した音や声質に配慮するように伝えており、ゆったり過ぎる時間の中で利用者一人ひとりのペースに合わせた支援を心がけている事業所である。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有しています。また、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように心掛けている。	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有しています。また、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように心掛けている。	ゆっくりと利用者のペースに合わせた支援を心掛けるという基本理念及びケア目標を作っている。職員は、日々の生活を通して職員主体のケアにならないように努めている。事業所ケア理念・ケア目標を基にして、職員が相談して決めた各ユニットごとのケア目標を作っており、日々の支援にあたっている。理念や目標は目に付くところに掲示し意識付けを図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会)の受け入れを行い、地域の方々との交流を図るように努めている。	中多久区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会)の受け入れを行い、地域の方々との交流を図るように努めている。	地区の盆踊りや清掃作業に参加するなど、地域との関わりを大切にしたい支援を心掛け、なるべく事業所へ足を運んでもらえる環境づくりに努めている。法人合同の文化祭には子供から高齢者まで多くの地域住民の参加があり、今年は高校生ボランティアの参加や銀行員によるマジックショーなどで盛大であった。区のお知らせ・行事予定一覧表がリビングに貼ってあり、区の一員・住民としての意識付けに役立っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内における文化祭への実施・参加を通し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。本年9月より、認知症カフェを立ち上げ、相談活動も行っている。	法人内における文化祭への実施・参加を通し、地域の人々へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。本年9月より、認知症カフェを立ち上げ、相談活動も行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで年間活動に関するプレゼンを行い、周知を図っている。	年間の活動計画を基に運営推進会議を開催している。そこで年間活動に関するプレゼンを行い、周知を図っている。	運営推進会議は区長・民生委員などの地域住民や行政職員の参加で開催されている。会議では事業所を知っていただけるような情報交換や活発な意見交換がなされている。出席委員からの質問も多く、事業所と地域とがより一層理解を深める場となっている。委員の提案で地区の清掃作業後、地域住民のグラウンドゴルフ大会に職員が多数参加するなど地域交流に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月1回開催される多久市地域包括支援センターで開催される多久市地域ケア会議に出席し、情報交換の場としている。	毎月1回開催される多久市地域包括支援センターで開催される多久市地域ケア会議に出席し、情報交換の場としている。	行政担当者が運営推進会議の委員であり、普段から協力関係を築いている。利用者や事業所の実情・利用状況・空き状況を伝えており、行政との連携を保っている。介護相談など、行政と一緒に取り組んでいる事業も多い。地域包括支援センターにおいて事例発表も行い、検討勉強会につなげている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、拘束しないケアに取り組んでいる。身体拘束も行っていない。契約書において、身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、御家族の意向等を確認している。	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、拘束しないケアに取り組んでいる。身体拘束も行っていない。契約書において、身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、御家族の意向等を確認している。	契約時、家族や本人に事業所の方針を伝え、身体拘束をしない支援に取り組んでいる。身体拘束処置に関する家族の考えを聞き、家族の思いを把握している。経営母体の法人内で毎年身体拘束に関する研修を受け、身体的・精神的苦痛の無い支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する部署内研修を行ったり、法人内研修会に参加したりしている。身体的・精神的・社会的虐待ととられかねない職員の言動には気を付ける様に注意している。	高齢者虐待に関する部署内研修を行ったり、法人内研修会に参加したりしている。身体的・精神的・社会的虐待ととられかねない職員の言動には気を付ける様に注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	基本的人権・倫理等に関する研修会への参加、もしくはレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開ができるようにしている。	基本的人権・倫理等に関する研修会への参加、もしくはレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開ができるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にてきちんと説明し、納得了解していただけるように努めている。	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にてきちんと説明し、納得了解していただけるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口として、主任及び計画作成担当者を配置している。契約書内に苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。	苦情相談窓口として、主任及びケアマネを配置している。契約書内に苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。	管理者や担当職員は利用者や家族と話すことを心掛け、意見や要望の把握に努めている。管理者は、健康管理に関する事案はタイムリーに報告することが重要と考えており、面会が少ない家族には電話をして早く伝えている。利用者の要望で居室の様様替えをするなど、把握した意見や要望はできる限り速やかに検討し運営に活かしている。家族に満足度調査を郵送し、意見の把握に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聴き、反映させる機会を設けている。	東西ユニット全体での定期的なミーティング等で、職員からの意見や提案を聴き、反映させる機会を設けている。	管理者と職員は普段からよく話し、何でも言える関係である。掲示板や日常生活、毎月のホームミーティングを通して職員の意見を聞く機会が多い。管理者は職員の意見や要望に耳を傾け、運営に反映させる姿勢を持っている。利用者個々の食事の要不要につなげるため、他科受診予定表や入居者確認カレンダーなど一目で全利用者の通院や支援予定が分かる表を作成するなど、出された意見や提案は運営に活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事評価制度を基にした各職員の年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができるような仕組みがある。	人事評価制度を基にした各職員の年間目標立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができるような仕組みがある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会に関する情報提供がなされており、必要な勤務調整も行い、参加できる機会作りを行っている。	法人内外の研修会に関する情報提供がなされており、必要な勤務調整も行い、参加できる機会作りを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	多久地区にあるGH大地との交流を図るべく、年間のレク等で一緒に活動できるように努めている。	多久地区にあるGH大地との交流を図るべく、年間のレク等で一緒に活動できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学を希望される御家族やご本人の見学受け入れを随時行っている。ご本人や御家族から入居にあたり、生活歴や現病歴を聴き、情報収集を行っている。それを基にしたフェイスシートやケアプランの作成に努めている。	施設見学を希望される御家族やご本人の見学受け入れを随時行っている。ご本人や御家族から入居にあたり、生活歴や現病歴を聴き、情報収集を行っている。それを基にしたフェイスシートやケアプランの作成に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたり、グループホームでの生活に不安が生じない様に要望等を十分聴き、それに沿えるように留意し、ご本人や御家族への説明を行うように努めている。	サービス利用開始にあたり、グループホームでの生活に不安が生じない様に要望等を十分聴き、それに沿えるように留意し、ご本人や御家族への説明を行うように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や御家族からの要望を聴き、張りのある生活を提供できる方法として、デイケア参加に関する調整を行なっている。	ご本人や御家族からの要望を聴き、張りのある生活を提供できる方法として、デイケア参加に関する調整を行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者それぞれに「受け持ち」を配置し、ニーズを掴み、必要であれば御家族との関係調整を図る役割を行っている。日常生活上でご本人の出来る所や得意なものを生かす様に努め、趣味を大切にできるように援助し、食事や洗濯等へ関わって頂くようにフォローしている。	入居者それぞれに「受け持ち」を配置し、ニーズを掴み、必要であれば御家族との関係調整を図る役割を行っている。日常生活上でご本人の出来る所や得意なものを生かす様に努め、趣味を大切にできるように援助し、食事や洗濯等へ関わって頂くようにフォローしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族との関係が維持できるように、必要であれば電話連絡を行ったりして、タイムリーな情報伝達に努め、面会時には日頃の過ごし方に関する情報提供を行っている。ホームでのレクや行事も共に楽しんでいただけるように努めている。	御家族との関係が維持できるように、必要であれば電話連絡を行ったりして、タイムリーな情報伝達に努め、面会時には日頃の過ごし方に関する情報提供を行っている。ホームでのレクや行事も共に楽しんでいただけるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日を記念した行事を行い、共に喜べるように努めている。	御家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日を記念した行事を行い、共に喜べるように努めている。	入居契約時に思いや希望を聴いて、関係継続の支援に努めている。家族の面会時を利用して、本人から聞けない情報を得ることもある。利用者の要望で馴染みの美容室を利用するなど、利用者一人ひとりに合った支援に結び付けている。訪れたい場所やドライブに行きたい等、利用者から要望が出た場合は、家族の協力を得ながらできる限り取り組んでいこうと思っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者それぞれの性格や特性を考慮し、孤立しない様に職員は関わりを持ち、ケア目標として掲げ、ケアに努めている。	入居者それぞれの性格や特性を考慮し、孤立しない様に職員は関わりを持ち、ケア目標として掲げ、ケアに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたような場合には、御家族の了解を基にお見舞いに行き、状態や状況を確認するようにしている。	入院されたような場合には、御家族の了解を基にお見舞いに行き、状態や状況を確認するようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活の中で入居者と向き合い、希望や意向を聴き、カンファレンスにおいて検討している。又、御家族の希望や意向を聴き、本人との対話を行い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら検討するようにしている。	日頃の生活の中で入居者と向き合い、希望や意向を聴き、カンファレンスにおいて検討している。又、御家族の希望や意向を聴き、本人との対話を行い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら検討するようにしている。	担当職員制をとっており、利用者の思いや意向の把握に努めやすい環境である。一人ひとりその人のペースに合わせた支援の中で、暮らし方の希望を聴いている。発語の少ない利用者には、リハビリや活動をしながらかしやす環境を作って聞いている。知り得た利用者情報はすぐに紙に書いて貼りだし、職員間で情報共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人や御家族から情報を得つつ、日常生活状況や習慣に目を向けながら、生活のパターンを汲み取っている。	入居時にご本人や御家族から情報を得つつ、日常生活状況や習慣に目を向けながら、生活のパターンを汲み取っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、ご本人の出来る事、出来ない事を把握し、見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じながら、生活全般の支援を行っている。	日常生活の中で、ご本人の出来る事、出来ない事を把握し、見極めながら、個々の心身の状態や能力に応じながら、生活全般の支援を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や御家族からの希望や意向を聞き入れながら、生活状況においてモニタリング等を行いながらカンファレンスを行い、介護計画を作成し、3ヶ月、6ヶ月と個々の状況や状態に応じて、見直しを行い、随時検討・変更を行っている。内容については、御家族に説明し、署名を頂いている。	ご本人や御家族からの希望や意向を聞き入れながら、生活状況においてモニタリング等を行いながらカンファレンスを行い、介護計画を作成し、3ヶ月、6ヶ月と個々の状況や状態に応じて、見直しを行い、随時検討・変更を行っている。内容については、御家族に説明し、署名を頂いている。	利用者や家族から要望を聞き、具体的な介護計画が立てられている。食事・水分摂取から排泄・入浴・洗面・基本動作・リハビリ・医療・心理・社会面に関するケアが書かれたケアチェック表があり、モニタリングに活用されている。モニタリングは課題や短期目標・サービス内容・実行確認や意見・要望などその人に合わせて3～6ヶ月ごとに実施している。モニタリング記録表はサービス担当者会議の資料として活用され、現状に即した介護計画に活かされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿いながら、24時間の生活の具体的な内容や介護ケアを経過記録に残し、個々の状況や状態に応じた対応を行い、その内容も記録に具体的に残している。	介護計画に沿いながら、24時間の生活の具体的な内容や介護ケアを経過記録に残し、個々の状況や状態に応じた対応を行い、その内容も記録に具体的に残している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のニーズに対応しながら、個別に美容室や買い物外出等に対応し、病院受診や付き添い等は基本的に御家族へ対応をお願いしているが、御家族の状況により柔軟に対応している。	個々のニーズに対応しながら、個別に美容室や買い物外出等に対応し、病院受診や付き添い等は基本的に御家族へ対応をお願いしているが、御家族の状況により柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生活を支えるものとして、理美容や食事などを行う場所への外出や地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園やボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らし作りに努めている。	入居者の生活を支えるものとして、理美容や食事などを行う場所への外出や地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園やボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らし作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日バイタルサインチェックを行い、必要時には再検を行っている。心身の状態把握に努め、中多久病院定期受診や必要時にはかかりつけ病院への受診も御家族の意向を踏まえた対応を行っている。		かかりつけ医については契約時に説明して話し合っている。入居前からのかかりつけ医の継続受診が基本であるが、利用者や家族の意向を大切にして事業所の協力医への変更も支援している。契約時には、「利用者の身体的変調が起こった場合の確認事項」に沿って意思確認をしている。また、急変時における協力医療機関の関わりや家族の意向確認もなされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の日常的な健康状態把握を行い、必要時には中多久病院外来や病棟の看護師へ状態報告を行い、医師の診察を受けたりする事もある。必要時は医療機関への受診を行い、その時には御家族との連絡調整を行なっている。	入居者の日常的な健康状態把握を行い、必要時には中多久病院外来や病棟の看護師へ状態報告を行い、医師の診察を受けたりする事もある。必要時は医療機関への受診を行い、その時には御家族との連絡調整を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合には面会や病院職員へ可能な限りの状態確認を行い、御家族との間で病状把握、情報交換等を行っている。	入院した場合には面会や病院職員へ可能な限りの状態確認を行い、御家族との間で病状把握、情報交換等を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約書に重度化した場合に於ける対応に係る指針を記載している。また、入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴、身体的不調が起こった場合の確認事項、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での検査・治療に関する確認を行っている。	契約書に重度化した場合に於ける対応に係る指針を記載している。また、入居時に「入居時リスク説明書」にて、高齢者の特徴、身体的不調が起こった場合の確認事項、かかりつけ医療機関や搬送先病院等の希望を書面にて取り交わし、専門医療機関での検査・治療に関する確認を行っている。	契約時に、重度化や看取りに関する方針・対応を説明し同意を得ている。管理者は、看取りを事業所での生活の継続と捉え、極力事業所での看取り支援を行いたい考えである。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、緊急時訓練としてポディーコール訓練を行っている。	安全管理や事故対応マニュアルの活用を図り、緊急時訓練としてポディーコール訓練を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災に関しては、年2回の火災避難訓練を行い、自然災害対策についての訓練も行っている。又、運営推進会議の場において、災害に関する情報提供・検討を行っている。	防災に関しては、年2回の火災避難訓練を行い、自然災害対策についての訓練も行っている。又、運営推進会議の場において、災害に関する情報提供・検討を行っている。	年2回の避難・通報・消火訓練と1回の防災訓練が実施されている。訓練は利用者も参加されているが近隣住民には知らされていない。法人内に防災委員会があり、災害対策について勉強会を行っている。職員はAED研修を受けており、消火器も使える。夜間想定訓練は明るい時間帯での実施なので、暗さを実感するため実際の夜間訓練を検討している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	悠々の理念を基にしたケア目標に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々その事に気を付けながら人格の尊重とプライバシーに努めている。また、言葉遣いや態度に気を付け、プライバシーを侵害しないように訪室時のノックや排泄の声掛けの仕方についても留意している。	悠々の理念を基にしたケア目標に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々その事に気を付けながら人格の尊重とプライバシーに努めている。また、言葉遣いや態度に気を付け、プライバシーを侵害しないように訪室時のノックや排泄の声掛けの仕方についても留意している。	秘密保持同意書が有り、契約時に説明している。職員は外部や内部の接遇研修を受けており、言動が大切であることや自身が言われて嫌な言葉は話さないよう気をつけている。特に羞恥心に配慮した対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の意思決定は本人の意向を尊重する様に努め、必要であれば助言を加えたり、御家族からのサポートをしていただいたりしている。	日常生活の意思決定は本人の意向を尊重する様に努め、必要であれば助言を加えたり、御家族からのサポートをしていただいたりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったり、楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重する様に目標を掲げ、QOLを大切にしたい対応を行っている。	ゆったり、楽しく過ごせるように入居者のペースを尊重する様に目標を掲げ、QOLを大切にしたい対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧道具などは自宅から持参してもらい、自室内にて化粧できるようにしている。整容に関しては、御家族での対応以外で、希望される時はスタッフにて近くの美容室や理容室へ行くようにしている。服に関しては、御家族での衣替えや購入を依頼している。	化粧道具などは自宅から持参してもらい、自室内にて化粧できるようにしている。整容に関しては、御家族での対応以外で、希望される時はスタッフにて近くの美容室や理容室へ行くようにしている。服に関しては、御家族での衣替えや購入を依頼している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事内容がバラエティーに富む様に、又健康が維持でき、高齢者が食べやすいように外注を行っている。後片付けもできる方はなるべく自分で下膳し、食器洗いまでしてもらえるように声掛け等を行っている。	食事内容がバラエティーに富む様に、又健康が維持でき、高齢者が食べやすいように外注を行っている。後片付けもできる方はなるべく自分で下膳し、食器洗いまでしてもらえるように声掛け等を行っている。	年1回嗜好調査をしている。食事は三食とも外部に委託しているため、利用者の希望を取り入れられないが、おやつや誕生会のケーキは好きなものを用意している。利用者の要望で外食することもある。食事は利用者だけで食べており、職員は見守り支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人毎に食事摂取量の観察を行い、摂取量の把握をするようにしている。糖尿病の方もいらっしゃるのので、特に気を付けるように留意し、水分補給も気を付けている。体重測定も毎月行っている。	各個人毎に食事摂取量の観察を行い、摂取量の把握をするようにしている。糖尿病の方もいらっしゃるのので、特に気を付けるように留意し、水分補給も気を付けている。体重測定も毎月行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各個人のADLを考慮した声掛けや口腔介助を行っている。歯科治療が必要な方については、御家族に相談を行っている。	各個人のADLを考慮した声掛けや口腔介助を行っている。歯科治療が必要な方については、御家族に相談を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各個人のADLに応じた排泄状況の観察・把握に努めている。排泄介助が必要な方には、排泄パターンの把握を行いながら、必要な排泄ケア用品の使用を行っている。日中・夜間等、定期・不定期に排泄介助・ケアを行っている。	各個人のADLに応じた排泄状況の観察・把握に努めている。排泄介助が必要な方には、排泄パターンの把握を行いながら、必要な排泄ケア用品の使用を行っている。日中・夜間等、定期・不定期に排泄介助・ケアを行っている。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心がけている。トイレは居室にある。排泄に関しては、完全自立の他、声かけや一部介助の方が殆どである。紙パンツやパッド・布パンツ使用など、利用者一人ひとりの利用状況が一目でわかるような一覧表にしており、職員間で情報共有して支援に活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や軽運動を促している。乳製品や食物繊維、水分摂取を促し、適宜緩下剤と投与を行っている。必要時には看護師による浣腸対応を行っている。	散歩や軽運動を促している。乳製品や食物繊維、水分摂取を促し、適宜緩下剤と投与を行っている。必要時には看護師による浣腸対応を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に毎日可能であり、シャワー浴対応も行っている。入浴前には血圧測定を行い、浴室の温度管理を行いヒートショック防止に努めている。入浴パターンの把握にも努めている。	入浴は基本的に毎日可能であり、シャワー浴対応も行っている。入浴前には血圧測定を行い、浴室の温度管理を行いヒートショック防止に努めている。入浴パターンの把握にも努めている。	入浴は週2～3回の個浴が基本であるが、要望があればできる限り支援するように心掛けている。シャワー浴や清拭などその人に合った支援も柔軟に行われている。入浴しない時でも下着交換がなされ、清潔に配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や光・音等に配慮している。睡眠パターンの観察・把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。医師処方 of 眠前薬の服用もきちんとしてもらおうように対応している。	室温調整や光・音等に配慮している。睡眠パターンの観察・把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。医師処方 of 眠前薬の服用もきちんとしてもらおうように対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服については、職員にて管理している。薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認している。個別性をふまえた服薬介助を行っている。	内服については、職員にて管理している。薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認している。個別性をふまえた服薬介助を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年間レクやホームレクを行い、四季の移り変わりを感じたり、地域の方々との触れ合い、御家族との交流が図れ、張りのある生活が送れるように努めている。	年間レクやホームレクを行い、四季の移り変わりを感じたり、地域の方々との触れ合い、御家族との交流が図れ、張りのある生活が送れるように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な散歩や美容室・理容室までの外出や花見・社会見学と称した外出を行ったり、御家族からの外出・外泊等に関する支援を行っている。	日常的な散歩や美容室・理容室までの外出や花見・社会見学と称した外出を行ったり、御家族からの外出・外泊等に関する支援を行っている。	車イスや押し車を利用した事業所周りの散歩や買い物での外出支援がある。地域の行事参加や季節の花見・案山子見学・バスハイクなど多くの外出支援がなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員にて行っており、出納長記載を必ず行い、毎日チェックを行っている。職員が代理で購入したり、御家族と一緒に出掛けられたりすることがある。	金銭管理は職員にて行っており、出納長記載を必ず行い、毎日チェックを行っている。職員が代理で購入したり、御家族と一緒に出掛けられたりすることがある。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙に関しては、本人の意向を尊重した対応を行っている。電話での会話については、プライバシーへの配慮を行っている。	電話や手紙に関しては、本人の意向を尊重した対応を行っている。電話での会話については、プライバシーへの配慮を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活環境に注意を払い、快適な生活空間となる様に努めている。清潔な生活環境の提供を考え、毎日手が触れたりする箇所の清拭・消毒を行っている。又、空調による温度・湿度調整には気を付けている。	生活環境に注意を払い、快適な生活空間となる様に努めている。清潔な生活環境の提供を考え、毎日手が触れたりする箇所の清拭・消毒を行っている。又、空調による温度・湿度調整には気を付けている。	食堂兼居間のフロアは広くて明るくゆったりしており、利用者はソファやイスに腰掛けて自由にのんびりくつろいでいる。毎日2回、時間を決めて窓を開け換気を心掛けている。次亜塩素酸消毒液で拭き掃除をし、殺菌や消毒に気を付けている。加湿器や消臭剤も活用し、居心地の良い共用空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なるべく個人がゆっくりと過ごせるように配慮したり、他の入居者との交流が持てたりするような環境作りに心掛けている。テレビ番組やDVDでの歌の鑑賞ができたりと、楽しく過ごせるように努めている。	なるべく個人がゆっくりと過ごせるように配慮したり、他の入居者との交流が持てたりするような環境作りに心掛けている。テレビ番組やDVDでの歌の鑑賞ができたりと、楽しく過ごせるように努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に運び入れ、快適に過ごしてもらえるようにしている。入居後も御家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに努めている。	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に運び入れ、快適に過ごしてもらえるようにしている。入居後も御家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに努めている。	居室は畳敷きで、押入れや洗面・トイレ付きである。ベッド使用の人が殆どだが、畳に布団を敷いて寝られる利用者もいる。入居契約時に、自宅で使い慣れたタンスなどの持参を勧めている。壁には写真や絵・カレンダー・時計・手芸作品が飾られ、ソファも置かれて居心地よく過ごせる居室づくりが支援されている。家具の配置換えなど、利用者の要望によって居室の模様替えも職員の支援で柔軟に行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行状態を勘案し、御家族へ介護シューズの導入を提案したりして、安心して歩行できるように配慮している。居室内、居間、脱衣所、浴室内等に手すりを設置している。	歩行状態を勘案し、御家族へ介護シューズの導入を提案したりして、安心して歩行できるように配慮している。居室内、居間、脱衣所、浴室内等に手すりを設置している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない